

状 況 写 真

区 分	指 示
-----	-----

大分 営林署

(様 式 6)

イチイガシ 2 年生 苗 葉 落 前 状 態



同右 葉 落 後 の 状 態



状 況 写 真

区 分	指 示
-----	-----

大分 営林署

(様式 6)

複層林施業択伐箇所イチイガシ植生状況



複層林施業択伐箇所イチイガシ植生状況



植栽完了の苗木



状 況 写 真

区 分	指 示
-----	-----

大分 営林署

(様 式 6)

野兎防除ネット（古漁網）設置状況



林道端に集積されたイチイガシ2m材



イチイガシ人工林66年生伐根



林道端に設置された集材機



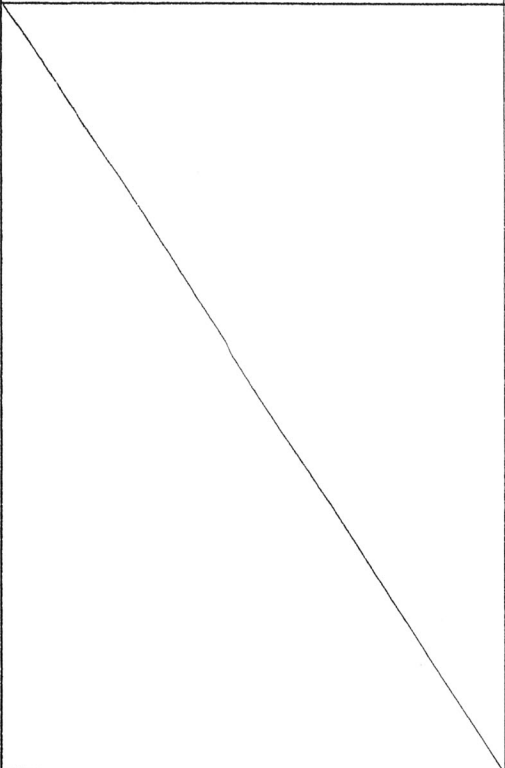
技術開発課題報告書 (元年度実施報告)

熊本営林局

課題	イチイガシの人工林を複層林へ誘導する施業法について	継続・新規別	新規	担当	計画課	開発箇所	大分 営林署	昭和63年度
		指示・自主別	指示					平成 4年度
年 度 別 実 施 経 過		元 年 度 実 施 報 告				評 価		
63年度 1. 試験地設定 (1) 場所 青山国有林141ろ林小班 (2) 面積 3.20ha (3) 上木林況 イチイガシ人工林 65年生 2. 帯状伐採 3.20haのうち0.91haについて、幅20mの帯状伐採0.47haを実施 3. 植栽 帯状伐採した0.47haにイチイガシ800本、ケヤキ400本植栽、周囲約500mに古漁網を張り回す。		1. 帯状伐採 20m幅 3列 0.50ha の帯状伐採を実施 2. 植栽 帯状伐採した0.50haにイチイガシ900本、ケヤキ400本植栽 周囲に金網を張る。 3. 照度調査						
		事業費(技術開発) _____ 千円						

平成元年 技術開発実施報告・計画

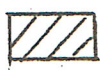

様式2

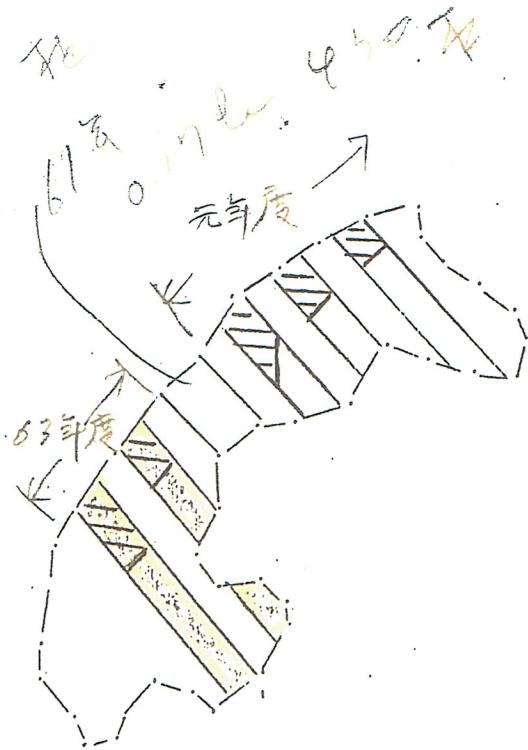
課題	イチイガシの人工林を複層林へ誘導する施業法		継続・新規 継続	担	技術開発室	開発	大分
目	公益的機能の高度発揮及び多様な木材需要に対応できる複層林の施業技術体系の確立をはかり、併せてイチイガシ幼齡		指示・自主 指示	当		箇所	(佐伯)
的	林の施業方法を検討する。		開発期間	昭和63年度 ~ 平成4年度			
年度別実施経過		元年度実施報告	2年度実施計画		備考 (評価及び普及計画等)		
		<p>平成元年度分複層林施業区域1.21haを設定し、20m幅3列0.50haを列状択伐により96m³を収穫し、直請により62m³素材を生産、1,924千円で販売した。</p> <p>列状択伐区域には、0.33haにイチイガシ900本0.17haにケヤキ400本を植栽した。</p> <p>野兎防護対策として、元年度植栽箇所の周囲に金網を張った。</p> <p>昭和63年度設定を含め照度調査を実施した。</p>	<p>活着率の調査(枯損を含む)</p> <p>下刈方法(筋刈区・坪刈区)</p> <p>成育状況の調査 (上木=肥大生長) (下木=根元径、樹高)</p> <p>照度測定(相対照度)</p> <p>野兎の防除対策</p>		<p>昭和63年度設定分については漁網により野兎防護にしたが、古漁網のため破れ冬期に被害が発生した。</p> <p>当年度収穫した箇所は、材質、蓄積とも63年度箇所より劣り単価も低価格となった。</p> <p>跡地にイチイガシ800本ケヤキ400本を一部平成元年度植樹祭会場として植栽した。</p>		
		業務費(技術開発) 千円	業務費(技術開発) 千円				



イナカイシの人工林を複層林へ誘導する施策方法

大分 営林署

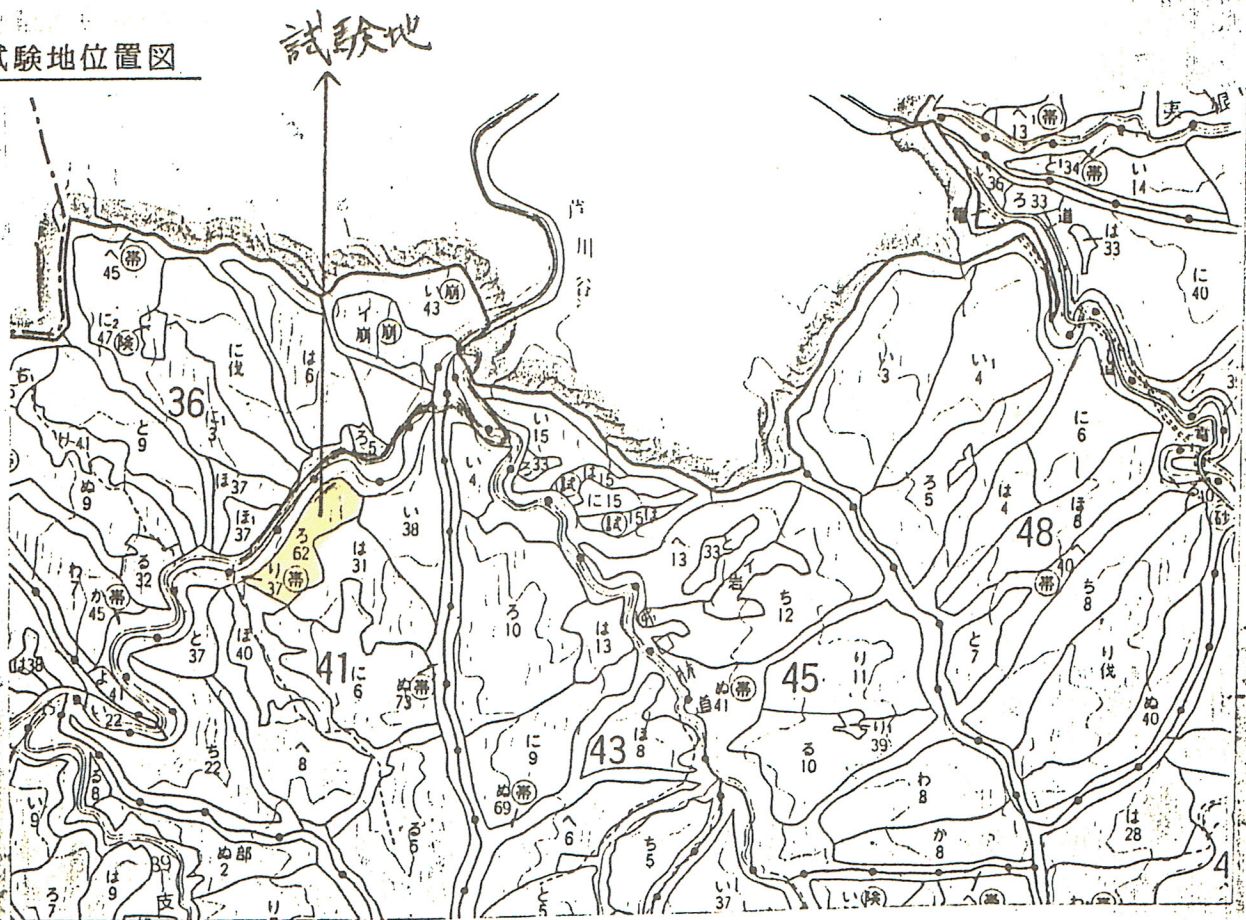
試験設定図

-  --- ケヤキ
-  --- イナカイシ



-  63年度設定
-  元年度設定

試験地位置図



状 況 写 真

区 分	指 示
-----	-----

大分 営林署

(様 式 6)

平成元年度設定箇所全景



防護網の設置状況



防護網の設置状況



植付完了状況

